

第三セクター経営健全化方針に基づく取組（令和6年度公表）

○方針の対象となる第三セクターの概要

法 人 名：株式会社 草津観光公社
代 表 者 名：代表取締役社長 堀田 洋一
所 在 地：群馬県吾妻郡草津町大字草津 2 8 番地
設 立 年 月 日：平成 2 年 4 月 1 6 日
資 本 金：98,000 千円【草津町出資額 86,000 千円 出資割合 87.8%】

○経営健全化方針を策定した理由

株式会社草津観光公社は、草津町の指定管理者として草津温泉の観光施設を一手に担い、今後、より当町の観光施策を充実させるためにも存続させることが肝要な会社である。

また、株式会社草津観光公社の発行済株式 1,960 株のうち 1,720 株を草津町が保有し、筆頭株主となっている。景気の動向に左右されつつも、経営が著しく悪化した場合には、地方公共団体の財政に深刻な影響を及ぼすことが懸念される。

新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う外出規制が、会社経営に対し甚大な影響を及ぼし、令和2年度決算時における売上が、損益分岐点を大きく下回り（対前年比で 60%）、営業利益で△262,360 千円となった。過剰債務解消の手段として劣後ローン（DDS：デット・デット・スワップ）の手法による長期貸付を行い、指定管理者経営改善の一助を担ったが、草津町が相当程度の財政的リスクを背負わなければならない状況となっている為、長期的な経営改善を行うことを目的とし、経営健全化方針の策定を行った。

○財政的リスクの状況

（単位：千円）

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算
債務超過額	148,133	42,027	0
事業の内容に応じて時価で評価した場合の債務超過額	0	0	0
土地開発公社のうち債務保証又は損失補償の対象となっている保有期間5年以上の土地の簿価総額（A）	0	0	0
損失補償、債務保証及び短期貸付けの合計額（B）	0	0	0
標準財政規模（千円）（C）	0	0	0
実質赤字比率（%）	0	0	0
（A）／（C）（%）	0	0	0
（B）／（C）（%）	0	0	0

○主な取り組み状況（令和6年12月現在）

1. 草津温泉スキー場

通年型の山岳リゾートへの転換を進める中、特に天狗地区の活性化と夏季営業の魅力創出に向け、新サービスの提供と大型の投資を行っています。

- （1）天狗山キャンプ場運用開始 令和4年5月
- （2）リフト乗車券1回券200円・1日券300円の値上げ（令和4年7月臨時会にて議決）
- （3）スカイスウィング（天狗山ブランコ）の建設 令和4年7月竣工
※令和4年度延べ乗車人数：5,058人 約2,800千円の増収
- （4）お客様の利便性向上の為、天狗山第7駐車場（林野庁草津保養所跡地）が使用許可を受けたことによる条例への追加（令和5年3月定例会にて議決）
- （5）リフト乗車券1日券1,000円の値上げ（令和5年9月定例会にて議決）
- （6）パルスゴンドラ天狗の建設 令和5年12月竣工 運用開始
※令和6年度上半期、対前年比で約28,000千円の増収
- （7）クリスタル天（そら）の建設 令和5年12月竣工 営業開始
※令和6年度上半期、対前年比で約5,000千円の増収
- （8）天狗山レストハウスの建設 令和7年12月竣工予定
- （9）令和5年度より、レストラン部門へのコンサルタントの伴奏支援を受けた、新たなメニュー展開の開始

2. 浴場施設料金値上げ

平成27年より据え置いていた大滝乃湯・西の河原露天風呂・御座之湯の利用料金を100円の値上げを2回実施。（令和4年6月定例会・令和5年9月定例会にて議決）
※令和5年度浴場施設延べ利用者数330,672人 対前年比で約57,323千円の増収

3. 部門損益から細分化したセグメントごとの損益の把握

令和3年度以前：施設及び課ごとの把握

令和4年度以降：施設売店、喫茶、食堂ごとの把握へ細分化

○法人の財務状況
(貸借対照表から)

	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
資産総額	336,737,311	461,429,769	614,702,839
(うち現預金)	152,686,459	287,236,248	354,382,163
(うち売上債権)	67,759,668	56,310,417	98,804,639
(うち棚卸資産)	14,759,654	20,245,883	20,980,661
負債総額	484,870,104	503,457,274	487,053,348
(うち当該地方公共団体からの借入金)	299,000,000	293,000,000	287,000,000
純資産総額	-148,132,793	-42,027,505	127,649,491

(損益計算書から)

	令和 3 年度決算	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算
経常収益	1,279,610,588	1,695,351,314	1,815,809,042
経常費用	1,313,368,808	1,592,501,861	1,662,362,361
経常損益	-33,758,220	102,849,453	153,446,681
経常外損益	17,020,606	3,255,835	16,230,315
当期純損益	-16,737,614	106,105,288	169,676,996

○債務超過の解消について

上記に示した取り組みや町全体で進めたまちづくりの相乗効果により、経営健全化方針の対象となった観光公社草津観光公社の財務状況は、新型コロナウイルスを要因とした債務超過を解消し、純資産総額は大きく改善される形となった。

令和 7 年 1 2 月の完成を目指し、建設を進めている「(仮称)新天狗山レストハウス」は、大きく張り出した窓ガラス、ゲレンデ側へ突き出したデッキ、ユニバーサルデザインに配慮したスロープの設置、木材をふんだんに使った近代的でモダンな建物へと意匠替えを行い、草津温泉における「リゾート草津エリアの象徴」となり、株式会社草津観光公社の経営運営を大きく後押しするものと期待されている。

本取組の公表は、債務超過を解消したことによりクローズとなるが、今後においても株式会社草津観光公社の経営基盤の安定は不可欠であり、草津町の主要観光施設管理運営を担う責任感のもと、顧客満足度向上と経営健全化の取組を進めていくよう株式会社草津観光公社へ要望していく。